

テーマ：『暮らし続けたい魅力ある地域をつくるために』

活用しよう！ 外部人材&コミュニティビジネス

<講師> 明治大学 農学部 教授 小田切 徳美

株式会社 四万十ドラマ代表取締役社長 畦地 履正
(ふるさと財団 地域再生マネージャー)

開催日時 2013年8月26日(月) 13:30~16:30 (開場 13:00)

会場 和歌山県自治会館 201・202 会議室 和歌山市茶屋ノ丁 2-1 TEL: 073-432-1795

参加費 無料

【セミナー概要】

和歌山県では、今後、大幅な少子高齢化の進行が見込まれ、様々な課題の顕在化が予測されています。特に、これまで地域の暮らしを支えてきた地域コミュニティ機能の低下は集落の存続に関わる大きな問題です。しかし、一方で3.11の東日本大震災以降、若者が地方の農山村に向かって移住する新しい動きが見えるなど、地方や農山村に対する都市部や若者の意識が変化しつつあります。

今、この時流をうまく活かした地域づくり、コミュニティの維持・再生を図ることが、求められています。

この為、本セミナーでは、その方策の一助にさせていただき、基調講演として、明治大学 農学部教授 小田切 徳美氏をお招きし、「地域づくりとは何か」をテーマにお話しいたします。

次に事例発表として、道の駅「四万十とおわ」を指定管理者として運営し、何もなかった地域に年間10万人を集客した、株式会社 四万十ドラマ代表取締役社長 畦地 履正氏より、「四万十川方式 地域発着型産業づくり」をテーマに実践的な事例紹介をしていただきます。

【次第】

13:30	開会挨拶	財団法人地域総合整備財団 理事長 柚木 憲一
13:40	基調講演	テーマ：『地域づくりとは何か』 明治大学 農学部 教授 小田切 徳美
14:40	質疑応答	
14:55	休憩	～15分間～
15:10	事例発表	テーマ：『四万十川方式 地域発着型産業づくり』 株式会社 四万十ドラマ代表取締役社長 畦地 履正
16:10	質疑応答	
16:25	財団からのご案内	財団法人地域総合整備財団 地域再生部長 森本 信哉
16:30	閉会	

【セミナー内容等のお問い合わせ先】

(財) 地域総合整備財団（ふるさと財団）地域再生部 (担当) 榎本(ますもと) 03-3263-5736

【参加申し込みのお問い合わせ先】

和歌山県企画部 地域振興局 地域政策課地域支援班 (担当) 西川 (にしかわ) 073-441-2371

< 基調講演 >

明治大学 農学部 教授 小田切 徳美

1959年神奈川県生まれ。東京大学農学部卒業。同大学大学院修了。農学博士。高崎経済大学助教授、東京大学助教授をへて、2006年より現職。日本学会議連携会員。

専攻は農政学・農村政策論、地域ガバナンス論。過疎問題、集落問題の専門家として全国各地の農山村を歩く。過疎問題懇談会委員（総務省）、国土審議会委員（国土交通省）、ふるさとづくり有識者会議座長（首相官邸）等の政府関係の委員を兼任する。

ふるさと財団では、平成21年度～22年度の「地域共創ビジネス支援事業」のアドバイザーを務め、24年度より、新・地域再生マネージャー事業における助成事業のアドバイザーを務めている。



< 事例発表 >

株式会社 四万十ドラマ代表取締役社長 畦地 履正

高知県出身。高知東高等学校卒。1982年通信関連企業入社。1987年地元十川農協（現高知はた農協）に就職。1994年四万十川流域町村（旧大正町・十和村・西土佐村）が出資設立した株式会社四万十ドラマに就職。「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに地域と密着し、自然循環型企業を目指した事業展開に従事する。2007年道の駅「四万十とおわ」を指定管理者として運営。同年、代表取締役に就任。

四万十川流域観光集客のシステムをつくる「四万十また旅プロジェクト」にも参画し、新たな観光産業を生み出し中である。

その他、総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）、ふるさと財団 地域再生マネージャーを務めている。

